

2025年10月10日
公益財団法人イオン環境財団

10月19日（日）滋賀県甲賀市育樹を実施

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社取締役兼代表執行役会長 以下当財団）は、10月19日（日）に「滋賀県甲賀市育樹」を実施します。

当財団は、2022年6月に滋賀県で開催された「第72回全国植樹祭しが2022」に協力し滋賀県油日^{あぶらひ}林木育種場における5年間の「森林保全活動および管理活動等に関する協定」を滋賀県甲賀市、滋賀県森林組合と締結しました。

2022年から、松くい虫で枯れたアカマツの伐採地を里山に再生することを目的に、クヌギ、コナラアカマツなど2年間で3,200本を植樹しました。

本年は、250名の地域の皆さまとともにこれまでの植樹地で下草刈りと補植をします。また地元の里山の木材を使ったキーホルダー作りやチェーンソーを使った丸太切りの実演見学などを行います。さらに、当財団と里山の共同研究を進めている京都大学フィールド科学教育研究センターの取り組みを紹介する展示に加え、研究員による里山の野生動物に関する講演を行い、地域の皆さまと里山の魅力を共有する環境教育を実施します。

当財団は、次代を担う子どもたちに豊かな自然を引き継ぐため、今後も里山づくりをはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

記

日 時	2025年10月19日（日）9：30～12：30		
場 所	滋賀県甲賀市甲賀町油日 滋賀県油日林木育種場 滋賀県林業普及センター油日分場（滋賀県甲賀市油日2214-41）		
実施内容	①育樹活動(下草刈り・補植) ②環境教育 ③里山の木材利用を学ぶ木工体験		
参加人数	250名		
主 催	滋賀県・公益財団法人滋賀県緑化推進会・緑の少年団滋賀県連盟 公益財団法人イオン環境財団		
後 援	甲賀市		
協 力	滋賀県森林組合・京都大学フィールド科学教育研究センター イオンリテール株式会社・マックスバリュ東海株式会社・イオンビッグ株式会社		
主な出席者	滋賀県琵琶湖環境部	技監	西川 公也 様
	公益財団法人滋賀県緑化推進会	常務理事	廣瀬 正明 様
	甲賀市	産業経済部長	近藤 直人 様
	滋賀県森林組合	中央事業所 事業所長	長坂 博史 様
	京都大学フィールド科学教育研究センター	センター長	舘野 隆之輔様
	マックスバリュ東海株式会社	執行役員第一事業部長	鈴木 充
	イオンビッグ株式会社	滋賀営業部長	秋田 実紀夫
	イオンリテール株式会社西日本カンパニー	インストア京都桂川店長	田中 拓
	公益財団法人イオン環境財団	事務局次長	西原 謙策

以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（当財団名誉理事長 イオン株式会社 名誉会長相談役）により日本で初めて地球環境をテーマにした、民間企業単独の財団法人として1990年に設立されました。以来「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業活動を中心に活動しています。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【植樹活動】

万里の長城での植樹をはじめとする植樹活動は、国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的にアジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施しています。当財団を含むイオン全体の植樹本数は、1991年から累計約1,276万本（2025年2月末時点）となります。

【全国植樹祭への協力】

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民の理解を深めるために、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により行う国土緑化運動の中心的行事です。当財団は、2018年から継続的に協力し、苗木提供など全国の行政と連携しています。



【2024年 育樹】

